

令和元年度第5回大学運営連絡会議事要旨

日時	令和元年9月10日(火) 10時28分～12時00分
場所	大学本部2階大会議室
出席者	学長, 後藤理事, 兒玉理事, 寺本理事, 佐々木監事, 早瀬副学長・全学教育機構長, 板橋教育学部長, 小坂芸術地域デザイン学部長, 中村経済学部長, 原医学部長, 渡理工学部長, 小林農学部長, 山下附属病院長, 山崎附属図書館長, 山崎事務局長
欠席者	宮武地域学歴史文化研究センター長(代理:伊藤地域学歴史文化研究センター副センター長)
陪席者	小野学長補佐, 豊田学長補佐, 穴井学長補佐, 宮脇学長補佐, 岩本学長補佐, 只木学長補佐, 西郡学長補佐, 永田海洋エネルギー研究センター長, 齋藤シンクロトン光応用研究センター助教

○ 学長から, 令和元年度第4回大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

【 報告・連絡事項 】

(1) 評価反映特別経費(業務の評価)に係るデータの現況について

IR室長から, 本件について, 評価項目等を踏まえ, IR室において収集したデータを提示しており, 各部局において内容を確認し, 不明点等については, IR室に連絡いただきたい旨, データは最終的に確認のうえ, 財務課に提供し, 評価反映特別経費の配分額算定に活用される旨の説明があった。

(2) THE世界大学ランキング日本版への学生アンケート対応について

IR室長から, 本件について, 指標の一つとして, 学生アンケートが実施予定であるため, 教育室との連携のもと, 9月下旬に全学生にメールにて周知予定である旨, 周知の際には, 質問項目の意味を解説したものを提示し, 学生の理解を促す旨, 学生アンケートの回答数が極端に低い場合, 他の項目の評価にかかわらずランキングが出ないため, 各部局において, ガイダンス等での周知及び資料配布に協力いただきたい旨の説明があった。

農学部長から, 学部ごとの回答率等の情報提供について確認があり, IR室長から, 学部ごとの回答数等の細かい情報はわからないが, 全体のアクセス数は把握できるので, それに応じて部局への再周知等をお願いする旨の発言があった。

経済学部長から, 学年の縛りがあるか確認があり, IR室長から, 学年は関係ない旨の発言があった。

(3) 佐賀大学の適正規模の検討について

企画評価課長から、本件について、2040年に向けた高等教育のグランドデザイン及び国立大学法人改革方針等で国立大学の適正規模の在り方について議論が必要であると示されたため、佐賀・福岡・長崎の18歳人口動態等のデータによるシミュレーションの結果等を踏まえ、本学の適正規模について検討した旨の説明があった。

兒玉理事から、9月4日の拡大役員懇談会において、本件についてディスカッションをしたところ、各学部で18歳人口減による入学志願者の確保、入学者の質の変化等を問題視している旨の説明があり、その後、教育学部長から順に、学部の方針等について説明があった。

(4) 令和2年度国立大学法人佐賀大学運営費交付金概算要求額（文部科学省）の概要について

財務部長から、本件について、入学料免除及び授業料免除については、高等教育の修学支援新制度等を踏まえ予算編成過程において検討される旨及び各経費の概要について説明があり、次いで、環境施設部長から、令和2年度施設整備費要求事項について説明があった。

(5) その他

特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

(1) 活動現況等について月例報告

各学部等から資料5に基づき、報告があった。

(2) その他

特になし。

【 その他 】

学長から、任期満了に伴う退任の挨拶があった。

以 上